



GUNDAM ASTRAY RED FRAME

□ 本体ホワイト部

■ 本体ブラウン部

■ 本体ライトグレー部

■ 本体レッド部

FRONT

■ 本体レッド部

■ 本体ブラウン部



REAR



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売の、ガンダムカラー(「ガンダムアストレイ レッドフレーム」用、その他カラーセット)をお使いください。

●フレーム等本体レッド部:
■ レッド (90%)
■ +イエロー (10%)

●本体ホワイト部:
■ ホワイト (100%)
■ +ネービーブルー (少量)

●胸部等本体ブラウン部:
■ マホガニー (95%)
■ +ブラック (5%)

●本体ライトグレー部:
■ ブルーグレー (60%)
■ +ホワイト (40%)
■ +レッド (少量)

●武器等ダークグレー部:
■ ダークグレー (100%)

※または、ガンダムカラー レッド1

※または、ガンダムカラー ホワイト5

※または、ガンダムカラー ファントムグレー

DETAIL

■ 武器等

□ 本体ホワイト部

■ 本体レッド部



GUNDAM ASTRAY RED FRAME

MBF-P02 ガンダムアストレイ レッドフレーム
1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM SEED-12



BANDAI 2003 MADE IN JAPAN ※写真の完成品は塗装してあります。

0122715



ガーベラストレート

廃棄されたコロニー「グレイブヤード」で打たれたサムライブレード。戦闘で朽ちかけていた物をロウが復元した。実刃の刃ではあるが「技」しだいで特火重粒子砲のビームごとシンを一刀の元に両断する切れ味をみせる。グレイブヤードは古の技を受け継いだ技術者が多く移住していたが、その特殊技能に眼をつけた略奪者達に荒らされ、現在では老匠「種・奥(うん・のう)」一人が、残された「墓標(データベース)」と共に隠棲している。

ビームライフル

GAT-Xシリーズにおいて初めて完成をみた小型高出力のビーム兵器をアストレイのそれに転用した。掌にあるコネクターを通し機体本体から電源を供給している為ある程度の連射が可能である。また、そのコネクターでビームエネルギーを放電させることにより短期間ながらエネルギー塊を形成、接近戦における秘密技とすることも出来る。



イーゲルシュテルン

頭部左右に装備された対空自動制御機関砲。
モルゲンレーテ社の主力商品を改良し、GAT-Xシリーズやその運用母艦となる予定であったアークエンジェル級特装艦にも装備された。アストレイの頭部はセンサー類や機関砲自体の換装が容易な構造となっている。

ガンダムアストレイ レッドフレーム

型式番号：MBF-P02
全高：17.53m 重量：49.8t
武装：頭部75ミリ対空自動バルカン砲塔システム(イーゲルシュテルン)
ビームライフル
ビームサーベル
ガーベラストレート

MECHANISM

バックパック

背面のバックパックは下方にスライドし、その下のジョイントに様々なオプションを装備することが出来る。アストレイは戦局に応じ、機体各部に装備を追加、あるいは換装することを想定し設計されている。その汎用性は広く、傭兵仕様となったブルーフレームの特注兵器や、ジャンク屋がスクラップからでっ上げた奇想兵器まで幅広く運用することが出来る。



シールド

GAT-X102・105の標準装備である耐ビームコーティング仕様のシールド。消耗品として多数製造されたものを利用している。後にモルゲンレーテはこれを改良し更に大量生産、量産型「M1アストレイ」にも装備した。

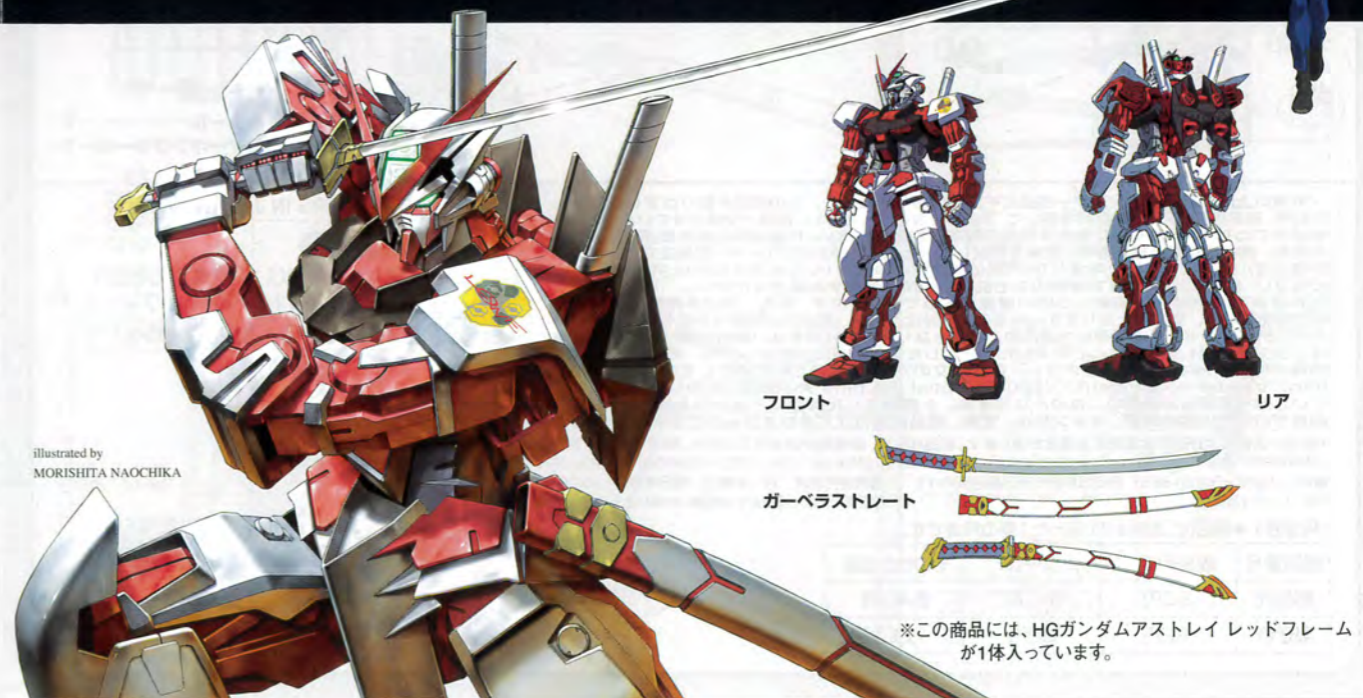
ビームサーベル

ビームライフルと同じくGAT-Xシリーズ用に開発されたビーム斬撃兵器。ライフルで実用化された高出力ジェネレーターとミラージュコロイド用の磁場形成機構を応用している。これを見るとアストレイは当時の最新MS技術をふんだんに使用(盗用とも言いが)して作られていることが判る。ただしレッドフレームはロウの性格ゆえか使用時間に制限があるため、サーベルよりももっぱらガーベラストレートが愛用されている。

GUNDAM ASTRAY RED FRAME

オーブ首長国連合が自国防衛用につくり上げたMBF(メインバトルフィギュア)「アストレイ」シリーズのプロトタイプ。その開発にあたったオーブの半国営企業モルゲンレーテ社は同時期に地球連合から発注されていた、GAT-Xシリーズの多くのデータを盗用したと思われる。だが、ブラックボックス化されていたPS装甲はコピーが出来ず、故に設計コンセプトとして「機体を軽量化し運動性を重視する」という案が採用された。P01~P03まで製造されていた機体は、ザフト軍によるヘリオポリス襲撃の際、極秘開発の露見を恐れた関係者により施設ごと廃棄されたはずであった。が、直後、火事場泥棒的に現場に突き入ったジャンク屋ロウ・ギール等に偶然発見され、レッドフレームは彼の愛機に、そしてブルーフレームはひょんなことから因縁の出来た傭兵、叢雲効(ムラクモ・ガイ)に渡された。

MATERIAL



illustrated by MORISHITA NAOCHIKA

フロント

リア

ガーベラストレート

※この商品には、HGガンダムアストレイ レッドフレームが1体入っています。

ロウ・ギール

宇宙を股に掛ける誇り高きジャンク屋。全てのメカに対して異常ともいえる愛情を持つ熱血漢であり、その行動原理の多くは本人曰く「死んだじいちゃんが言い残した、ジャンク屋十カ条」による。ただし、それは時と場合により数が増えたり文言が変化したりするファジーな教訓でもある。思考より行動が先に出るタイプではあるが、それが時に常識では考えられない強引さで窮地を脱する結果になる。本来、ナチュラルである彼がMSを操縦することは不可能なはずなのだが、それを可能とするのは(人口知能「B(ハチ)」)のサポートがあるにせよ)やはりそんな天性の資質による物なのだろうか?



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



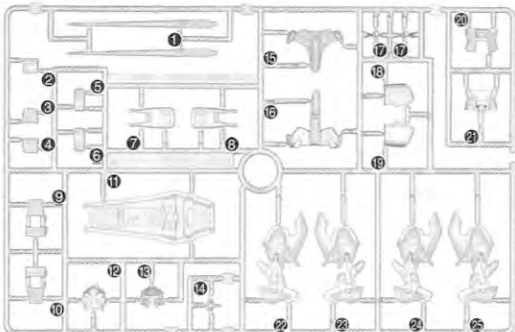
・どちらかを選んで取り付ける



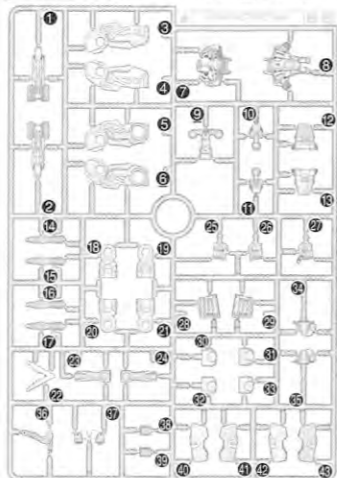
・反対側も同じように動かします

パーツリスト

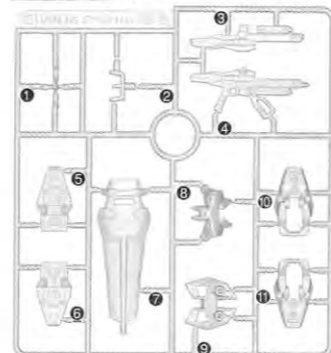
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



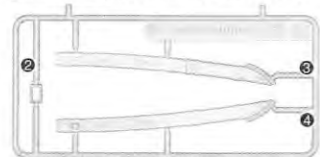
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



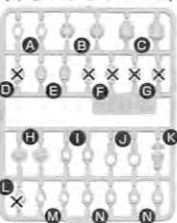
D1パーツ (スチロール樹脂: PS)



D2パーツ (スチロール樹脂: PS)



〈PC-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



- シール……………1
- マーキングシール…1

※Bパーツは下の図の様に切り取ります。

